
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.409 2024/8/22

1 令和5年度食品表示に関する消費者意向調査報告書公表

8月13日、消費者庁は、標記報告書を公表しました。株式会社ロイヤリティ マーケティングが消費者庁の委託を受け、調査を行い取りまとめたものです。

本調査は、消費者の食品表示制度に対する理解度等を調査し、その結果を分析することで、食品表示法等の関係法令やガイドライン等の定着状況を把握するとともに、消費者の食品表示に対するニーズを把握し、食品表示制度の見直しに役立てることを目的に、インターネットによるアンケートによる行われました。

調査内容の概要は次のとおりです。

ア. 属性（消費者の年齢、地域、男女の別等）

イ. 食品表示制度等の理解・活用状況

- ・栄養表示、アレルギー表示、原材料・添加物表示、原料原産地表示、製造所固有記号等の理解・活用状況

ウ. 個別のテーマについて

- ・新たな原料原産地表示制度の認知度、理解度等

エ. 現行の食品表示に対する課題と要望

- ・文字の大きさ及び情報量のバランス並びに表示方法等

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2023/assets/food_labeling_cms201_240813_01.pdf

2. 第4回個別品目ごとの表示ルール見直し分科会の開催について

消費者庁は、標記分科会を8月28日(水)14:00～16:00に開催する。

傍聴を希望される場合は、令和6年8月26日(月)17:00までに登録フォームからお申込みください。議題は次のとおり。

1. 即席めんの個別品目ルールの説明及びヒアリング(一般社団法人日本即席食品工業協会)
2. マカロニ類の個別品目ルールの説明及びヒアリング(一般社団法人日本パスタ協会)
3. ジャム類の個別品目ルールの説明及びヒアリング(日本ジャム工業組合)
4. その他

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/039017/index.html>